

オスプレイいらない! 八千代ネット通信 No.2

●発行：オスプレイいらない! 八千代ネットワーク ●発行日：2021年9月10日

●HP：http://www.yachiyo-syuyaku.net/no_osplay/

●事務局：090-6473-3172 (三田 登)

●メール：4111920001@jcom.home.ne.jp

ホームページへ
アクセス!

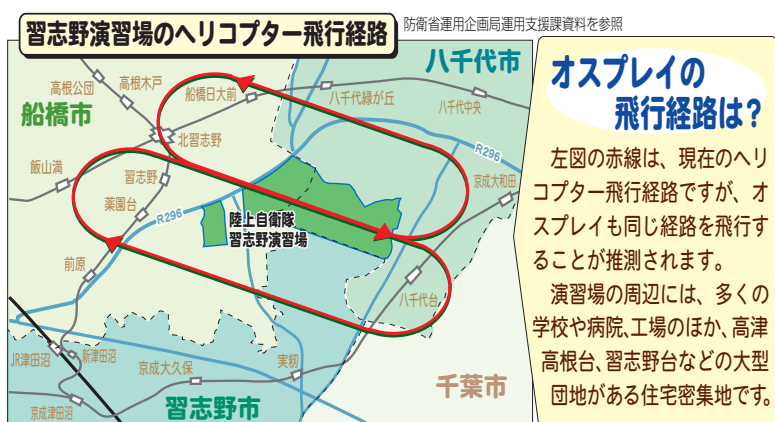


～恐怖の欠陥軍用機・オスプレイが上空を飛んでくる～

いよいよ訓練飛行が本格化。

地域住民の声で配備と飛行を止めましょう!!

●私たちの街の空に欠陥軍用機が飛んでくる!



世界中が欠陥を指摘している軍用機オスプレイ。墜落や故障を繰り返し、アメリカ以外で配備したのは日本だけ。にもかかわらず3600億円もかけて計17機が木更津に配備予定で、現在7機が配備されています。

そもそも、配備された経緯も安倍当時総理が訪米した際にトランプ当時大統領の欠陥品在庫一掃セールを無責任に受け入れたことが発端です。その後になって受け入れ先がなく、焦った政府は強引に木更津駐屯地への配備を押しつけたのです。

●オスプレイからパネルが落下。あわや大惨事に!

去る8月12日には、米軍普天間飛行場所属のオスプレイが重さ約1.8キロのパネルを落下させる事故を起こしていたと政府が公表しました。キャンプ・シュワブとハンセンにまたがる中部訓練場から宜野湾市の普天間飛行場に戻る途中で、落下場所は不明だとのことですが、場合によっては住宅街に落下した可能性もあり、

大惨事になるところでした。

2016年には普天間所属のオスプレイが名護市安部の海岸に墜落。2017年には米軍普天間飛行場所属のCH53E大型輸送ヘリが普天間第二小学校に窓を落下するなど、住民は不安な日常生活を余儀なくされています。

●飛行訓練が本格化。地域住民の声で配備と飛行を止めましょう!

木更津駐屯地に暫定配備されたオスプレイが、本格的に訓練を始めると、首都圏や関東周辺の上空でも飛行されます。それも大騒音とともに夜間・低空飛行訓練が行われるのです。住宅地に落下したら政府はどう責任をとるつもりなのでしょうか。

ルートは千葉県習志野演習場、静岡県と山梨県にまたがる富士地区の演習場、群馬県の相馬原演習場、新潟県の関山演習場などが挙げられています。また、東京湾沿いを飛行して江戸川から荒川沿いに北上するルート、東京湾から横浜を経由して北上するルートなど、首都圏全域の上空を飛ぶとされています。

これでは私たちは安心して生活することができません。私たちの命と財産を守るために、菅政権が進めて

いる軍拡路線に反対し、地域住民の声でオスプレイ配備と飛行を止めましょう。



木更津駐屯地から飛びたつオスプレイ
(8月26日、市民が撮影)